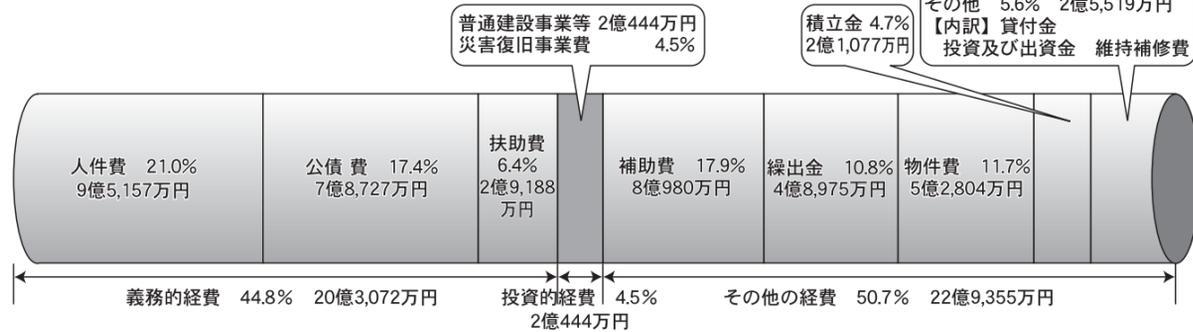
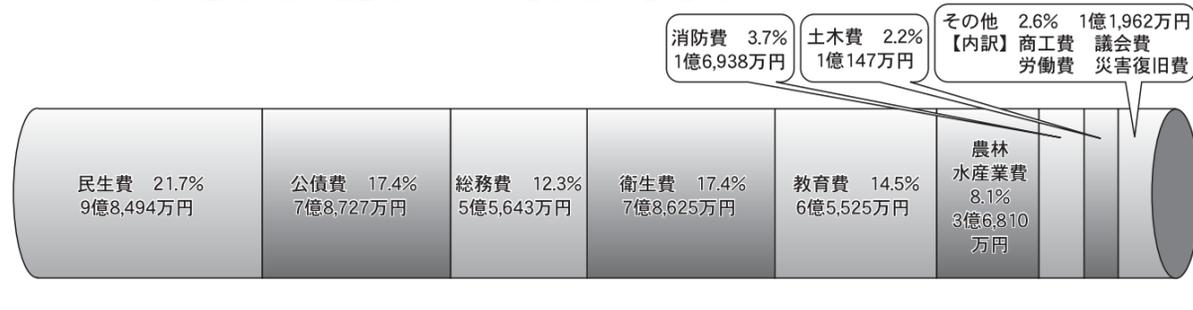


歳出総額 45億2,871万円

性質別
 人件費：町職員給与、町議会議員各種役員報酬
 公債費：借金返済費
 扶助費：児童手当、医療扶助費等
 投資的経費：道路の整備、公共施設の建設費等
 繰出金：普通会計から他会計に繰出したお金
 物件費：消耗品費、委託料等



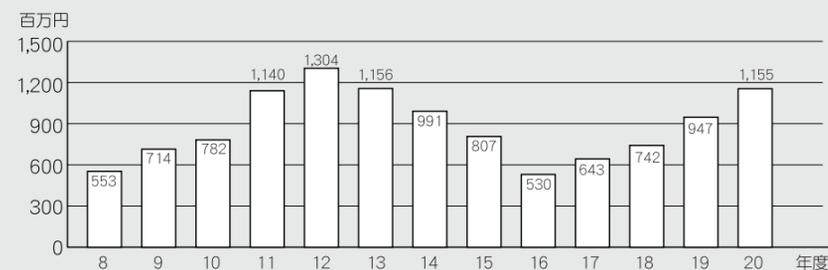
目的別
 民生費：福祉、医療、保育園運営費
 土木費：道路等の整備維持費
 総務費：管理事務や徴税、選挙費
 商工費：商工業や観光振興費
 衛生費：保健・環境衛生、ごみ処理費
 労働費：新規就職支援費
 農林水産業費：農林や畜産業費
 災害復旧費：災害被害の復旧費



歳出総額は前年度の43億9,143万円と比べ、1億3,728万円の増となりました。
 歳出の中で年々増加していた借金の返済金である公債費は、平成20年度は前年度に比べ4,945万円の減となりました。
 しかし、厳しい財政事情は続きますので、今後も更なる歳出削減に努めます。

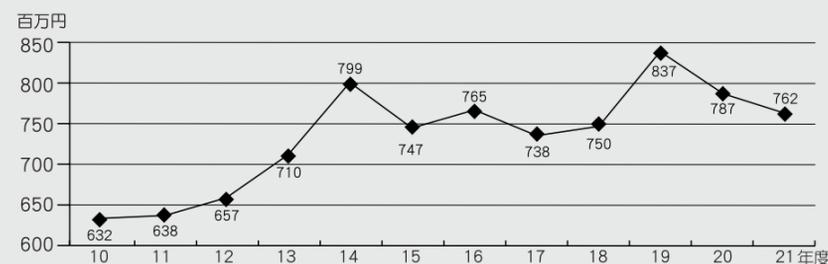
基金（貯金）の状況

基金とはいわゆる貯金のことで、少しずつ積み立てに努め、平成20年度には11億5千5百万円になりました。



公債費の推移

借金の返済にあたる公債費は、平成19年度に返済のピークを迎え、平成20年度からは年々少なくなる見込みですが、今後の事業により左右されます。



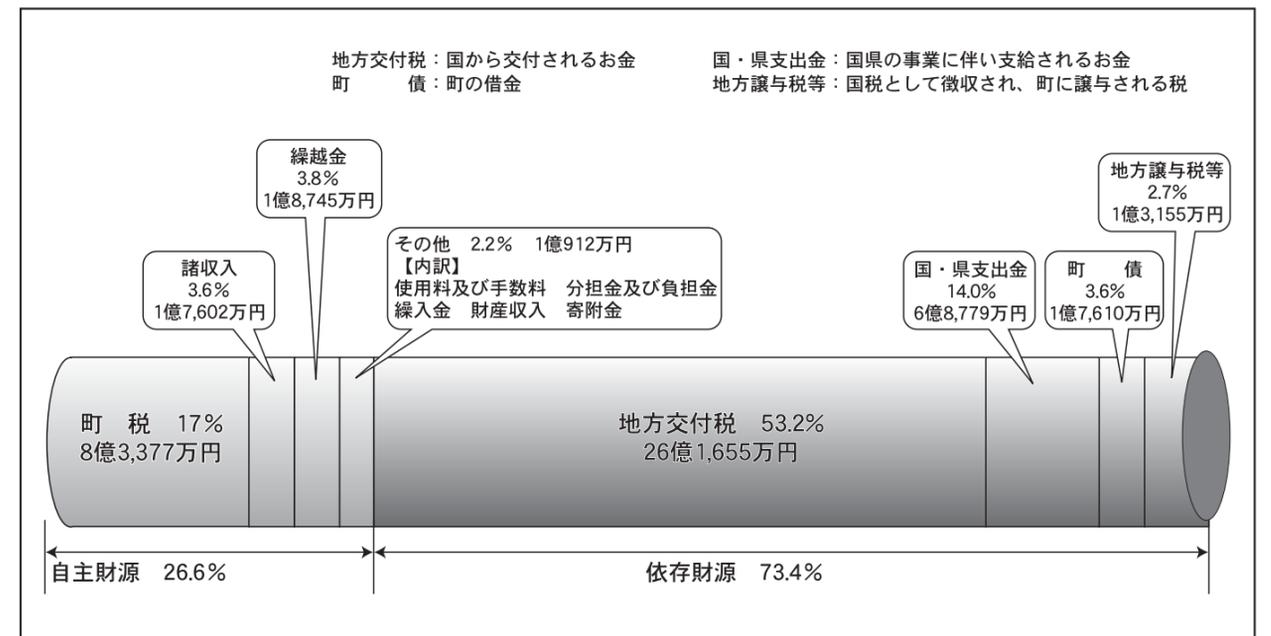
平成20年度

智頭町の決算報告 (普通会計)

平成21年9月25日に平成20年度決算が町議会で認定されました。
 平成20年度決算は、平成19年度に比べ、歳入歳出とも増額の決算となり、平成21年度への繰越事業の財源を除いた実質収支は2億7,659万円の黒字となりました。平成20年度も厳しい財政運営を強いられましたが、歳入確保及び歳出削減などに努めた結果、約2億円を基金として積み立てることができました。

※普通会計とは、一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計を合計したものです。

歳入総額 49億1,835万円



歳入総額は前年度の45億7,888万円と比べ、3億3,947万円の増となりました。
 収入の半分以上を支えているのが、国から交付される地方交付税です。国の財政悪化により近年は減少傾向にありましたが、平成19年度に続き平成20年度も1億6,467万円の増になりました。また、町税については、人口の減少や景気の低迷等に伴い減少傾向にあり、平成20年度は前年度に対し410万円の減となりました。
 収入の確保が年々厳しくなっていますが、徴収率の向上など収入確保の更なる努力をします。